

# 「基礎縫いバイブル」を活用した プレゼンテーションと作品作り

本題材は、縫製のポイントをまとめた「基礎縫いバイブルカード」をグループで作り、プレゼンテーションを行った後に製作をするという指導を行っている。「基礎縫いバイブル」のポイントを自分達で確認して製作することで、自己学習の一助とした。

さらに、バイブルカードには、名称・写真・コツやそのようにする理由を書き出し説明させることで、確実な知識の定着を図っている。

## 1. 小学校の基礎縫いをマスターできていない生徒

中学校における基礎縫いは、小学校の基礎の上に成り立つ。しかし、小学校の既習事項である「玉結び」や「玉止め」の出来ない生徒が2割ほどいるという実態である。「一針すくう」ということが理解できていないし、指ぬきの使い方も定着していない。授業を展開していくと、「半返し縫い」と「まつり縫い」に苦労している生徒も見られる。特に、「まつり縫い」では、「一針すくう」ことを途中でしなくなり、「かがり縫い」になっている生徒もいる。このような実態では、生徒が学習したことを生活に生かすことは難しい。

## 2. 指導目標

調査・実習活動したプレゼンテーションを行い、製作に関しての課題をみつけ、実践させる。

## 3. 題材の評価規準

- ア 基礎縫いについて関心を持ち、よりよい衣生活の仕方を追求しようとしている。【関心・意欲・態度】
- イ 基礎縫いについて課題を見つけ、その解決をめざして工夫している。【工夫・創造】
- ウ レポートを作成し、プレゼンテーションすることができる。【技能】
- エ 裁縫する意義を理解している。【知識・理解】

## 4. 指導計画

学習内容	時間
(1) 学習の見通しを持つ。 ① 学習前の技能の調査をする ② 豊かなものについて考える ③ 学習の見通しと、基礎縫いバイブル担当決定	1
④ 豊かなものの製作コースを選ぶ Aコース:三角巾(2年時に実習で活用) Bコース:体育館シューズ入れ(学校で活用) Cコース:リバーシブルエコバッグ(学校・家庭で活用)	1
(2) 製作品の全STEPを知り、紙でプレ作成を行う。	
(3) 基礎縫いバイブルを作成する。	2
(4) プrezentationを行う。 プレゼンテーションの評価をする。	1
(5) 作品を作る。	5
(6) 学習後の振り返りをする。	1

## 5. 「基礎縫いバイブル」

### ①課題設定

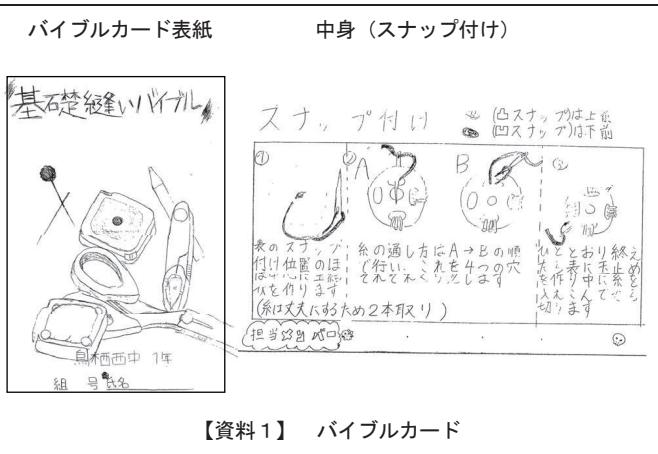
学習前の技能を学習カードでチェックした後、課題を設定した。4人グループの9班にあわせて、9つの課題とした。その内容を小学校履修内容・小学校応用

内容・中学校履修事項・言語事項・縫製の応用であることを示し、グループの希望により決定した。

## ②プレゼンテーションまでの手順

「基礎縫いバイブル」で言語活動を充実させるようにした。作成はB5サイズを基本とし、仕上がりは縮小コピーをしてA5サイズにしている。表紙と目次も生徒に作成してもらい、A4サイズで2つ折りにして綴じ、持ち運びが便利になるようにしている。

プレゼンテーションを有効にするために、バイブルカードに3cmほどの空欄を設定している。発表者にとっては、プレゼンテーション原稿メモを書き加えられるように、聞き手にとって、ポイントや疑問を書き込めるようにした。また、プレゼンテーションの準備として、色画用紙を台紙として使い、表にB4サイズに拡大コピーしたもの貼り、裏にB5サイズの原稿を貼った。裏に書き込みをさせて、プレゼンテーションがスムーズにいくようにしている。この取り組みにより、プレゼンテーション準備の時間を大幅に短縮することができた。



## 6. プrezentation

プレゼンテーションは、下記の手順で行った。

①プレゼンテーションは計4回行う。生徒は、1回は発表、3回はフロアとして聞く。1回は指定したところへ聞きに行き、2回は自由にして、自分が学びたいと思うところへいくようにした。スムーズに運ぶように机の配置図とプレゼン内容、発表順と発表場所を書いて説明した。

②プレゼンテーション中にポイントを書ききれない場合にも対応できるように、2色のペンを使ってバイブルカードにラインを引くように指導することによって、プレゼンテーション内容を聞き洩らさないようにした。

③プレゼンテーションの評価をシールと付箋紙で行った。内容は赤、発表(表現)は青のシールで最高2枚、最低1枚貼るようにした。また、コメントとして付箋紙を活用し、書き方の指導を行っている。「～したことで～。」と書くように指導することで、コメントの内容が充実して、より深い振り返りができた。

④グループでコミュニケーションを取りながら取り組み、グループの課題を分かりやすくアピールするようにし、説明だけではなく自分達で実演し、体験させることでも自己学習の一助とした。

## 7. この題材を通して学習するメリット

【資料2】は、題材の振り返りに使った学習カードである。プレゼンテーションをするだけではなく、振り返りをすることで、発表スタイルを身につけることができた。

また、冊子にしたことで、生徒はすぐに取り出して、

学習内容		製作・プレゼンテーション振り返り	D A T E
☆ 製作を終えて、あなたの技術はどうに変化していますか？		(学習前：青と学習後：赤を比較してみよう)	
直し針をつける (できあがり編)		できない	なんとか
二つ折り		できる	完璧にできる
まち針を正しく打つ		できる	
しつけをかける		できる	
玉結び		できる	
玉止め		できる	
指ぬきを使って選針		できる	
半返し縫い		できる	
ミシン縫い (赤か青)		できる	
ミシン縫い (直し縫い)		できる	
まつり縫い		できる	
ボタンをつける		できる	
刺繡をする		できる	
製作を終えて・・・			
まち針といつもの从でで、糸の開け口や長さをどうぞうりうさのが大変で、何時も直し針を正しく打つといふから、よくあります。久しぶりにニードルを買って、おもろい針で縫うのが好きになります。自分でやりがてで、苦難も楽しめます。でも最後は、やがて、しゃうげ上手くできますので、よかったです。			
☆ 「基礎縫いバイブル」作成とプレゼンテーション			
プレゼンの課題		できあがり編	二つ折り
評価		すこしも	すこしも
内容		かわいい	かわいい
シールの数		二枚	二枚
ユニーク		かわいい	かわいい
発表		もういちど	もういちど
シールの数		二枚	二枚
>7個		かわいい	かわいい
ブレゼンテーションをするところは		なんとかできる	できない
発表に説明できる		なんとか説明できる	できない
今日の評価		○△□	○△□

【資料2】 振り返り学習カード

繰り返し使っている。基礎縫いバイブルは、進度が速いクラス（5クラス中2クラス）で作成した。製作状況をみると、基礎縫いバイブルを作成したクラスが見通しを持って取り組んでいる。教師のサポートを必要とする回数は極めて少なくなる。生徒が作成したバイブルを縮小コピーして、A3サイズ1枚にして配布し、ポイントを説明することも可能である。